

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年12月19日 発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	47週	48週	49週	50週	警報レベル		注意報レベル
	11月18日～11月24日	11月25日～12月1日	12月2日～12月8日	12月9日～12月15日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	7 2.33	9 3.00	12 4.00	49 16.33	30	10	10
新型コロナウイルス感染症#	16 5.33	14 4.67	24 8.00	45 15.00	-	-	-
RSウイルス感染症	0 -	0 -	2 1.00	0 -	-	-	-
咽頭結膜熱	0 -	0 -	0 -	2 1.00	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0 -	2 1.00	2 1.00	2 1.00	8	4	-
感染性胃腸炎	8 4.00	10 5.00	13 6.50	18 9.00	20	12	-
水痘	2 1.00	2 1.00	2 1.00	2 1.00	2	1	1
手足口病	12 6.00	16 8.00	5 2.50	12 6.00	5	2	-
伝染性紅斑	0 -	0 -	0 -	0 -	2	1	-
突発性発しん	2 1.00	1 0.50	1 0.50	0 -	-	-	-
ヘルパンギーナ	0 -	0 -	0 -	0 -	6	2	-
流行性耳下腺炎	0 -	0 -	0 -	0 -	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0 -	0 -	0 -	0 -	-	-	-
川崎病	0 -	0 -	0 -	0 -	-	-	-
不明発疹症	0 -	0 -	0 -	0 -	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	-	○	-
備考		新型コロナウイルス感染症	

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原支所より

【 定点把握対象疾患 】

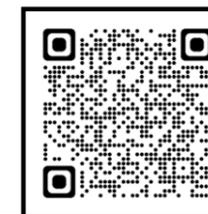
- ・インフルエンザの発生が5週連続増加し、注意報レベルです。
- ・新型コロナウイルス感染症の発生も増加傾向で、今後も患者数の増加が予測されますので、マスクの活用や手洗いなどの基本的な感染対策を徹底してください。
- ・感染性胃腸炎は横ばいです。
- ・水痘発生は継続しています。
- ・手足口病が再度増加しています。手洗いの徹底などの接触感染対策を心掛けてください。

【 集団発生情報 】

高齢者施設において新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。感染対策に努めましょう。

【 感染症コラム ～性感染症検査のお知らせ～ 】

- 性感染症(性病)について正しく知っていますか？
- ・性感染症は、感染していても無症状の場合があります。感染に気が付かず治療せずにいると、症状が重くなっていることもあります。
 - ・一度治ったとしても、再度感染するものもあります。
 - ・妊娠中に感染すると、お腹の赤ちゃんに感染する可能性があるものもあります。
 - ・心配になったら勇気を出してパートナーに「一緒に検査や治療をうけてみよう」と誘ってみてください。
 - ・性感染症には、血液中に抗体やウイルスが一定期間検出されない「ウィンドウ期」があるため、感染直後の検査だと陰性となることがあります。
 - ・性感染症では、ウィンドウ期を過ぎてからの検査をお勧めします。(①HIV:12週間②クラミジア:3週間③梅毒:6週間④肝炎:24週間)



感染症情報 ←



性感染症検査 ←

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594
HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>